

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報				○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)				
科目名(英)	現代社会要論 (Elements of Modern Society)			到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)		
ナンバリングコード	A20210	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目/キャリア科目	【関心・意欲・態度】 ①自ら調べ学修ができる。 ②自分の役割を理解し、それに沿った行動ができる。						
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 後期	【知識・理解】 テーマについて必要な知識を獲得できており、問題点の分析に活用することができる。			10点			
必修・選択区分	選択			【技能・表現・コミュニケーション】 ①現代社会における問題点について、適切な手段を用いて表現することができる。 ②現代社会における問題点について、自分の意見を述べることができる。			10点	20点		
授業コード	A032051	クラス名		【思考・判断・創造】 リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。			30点	10点		
担当教員名	鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎							10点		
履修上の注意、履修条件	教育効果の観点から、受講生を60名に制限します。履修希望者が超過した場合は、第1回目の授業において、選考の参考資料にするためのレポート作成を行います。 ・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加してください。受け身の姿勢では意味がありません。			○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足 各テーマの成果物(ポスター、パワーポイント資料)により、現代社会における問題点について、論理的に表現できているか、リテラシーのプロセスが活用できているかを評価します。 ①各テーマの発表(プレゼンテーション)により、現代社会における問題点及びリテラシーのプロセスについて、わかりやすく表現できているかを評価します。 ②グループワークにおける行動により、調べ学修ができているか、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができるか、自分の意見を述べているかを評価します。						
教科書	なし									
参考文献及び指定図書	『知へのステップ 第3版—大学生からのスタディ・スキルズー』 (くろしお出版) 学習技術研究会 編著 ※社会参画入門・実習1使用教科書									
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧めなど									
○授業の目的・概要等				○備考欄						
授業の目的	現代社会が抱える問題について、資料を基に自ら考え、また、グループで議論することにより、「社会問題を理解し、様々な意見に触れ、自分の考えを持つことができるようになる」「なぜ自分がそのような考えを持つようになったのか、理由を説明し、自分の意見として主張できるようになる」ことを目的とします。									
授業の概要	現代日本社会の根本問題ともいえる、少子高齢社会における課題について、①「高齢社会について考える」②「少子化を解消する」の2つのテーマを設定し、6名程度のチームによるグループワークを通じて、課題解決の提案を行います。社会的な問題に対して、提供された情報・資料および追加収集した情報を分析し、それを基に課題を発見し、その解決策を考え、論理的なストーリーを持った内容を明快にプレゼンテーションできるような能力の向上を図ります。また、チーム内で建設的な話し合いをし、協力しながら成果物を作成する能力も養います。									
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」								
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」								
	(3)アクティブラーニング	「アクティブラーニング科目」								
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目									
実務経験のある教員による授業科目										

2019年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画 科目名：現代社会要論（Elements of Modern Society） 授業コード:A032051 担当教員：鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎</p> <p>学修内容</p> <p>1. オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明 ○受講生決定の参考資料としてのレポート作成</p> <p>予習： 復習：</p> <p>2. 現代社会における商店街の意義や価値(1) ○資料分析 資料を読んだ上で、商店街が衰退した原因について、複数の視点から考えをまとめる</p> <p>予習： 復習：</p> <p>3. 現代社会における商店街の意義や価値(2) ○前回のワークシートの記入例を解説 ○資料分析 活性化に成功した商店街の事例を読み、それぞれの商店街が成功した要因をあげ、現代社会における商店街の役割や意義に関してまとめる</p> <p>予習： 復習：</p> <p>4. 現代社会における商店街の意義や価値(3) ○前回のワークシートの記入例を解説 ○文章作成 前2回の資料を読んだうえで、商店街が衰退した原因についてまとめ、商店街活性化のいくつかの事例を踏まえて、現代社会における商店街の意義や価値について、600字～800字程度で論じる</p> <p>予習： 復習：</p> <p>5. 高齢社会について考える(1) ○高齢社会の問題点・課題について自由に考える(グループワーク) ○高齢社会の背景・問題点について情報提供(教員)</p> <p>予習： 復習：</p> <p>6. 高齢社会について考える(2) ○与えられた資料を読解・分析し、高齢社会における課題を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業</p> <p>予習： 復習：</p> <p>7. 高齢社会について考える(3) ○2030年における望ましい社会像を構想し、その方向性を実現するためのアイディアを出す(グループワーク)</p> <p>予習： 復習：</p> <p>8. 高齢社会について考える(4) ○プレゼンテーション準備「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて描く」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・模造紙に発表資料を作成</p> <p>予習： 復習：</p>	<p>○授業計画 科目名：現代社会要論（Elements of Modern Society） 授業コード:A032051 担当教員：鈴木 照夫、鍋田 耕作、高見 大介、河村 裕次、吉本 圭一郎</p> <p>学修内容</p> <p>9. 高齢社会について考える(5) ○プレゼンテーション「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて提案する」</p> <p>予習： 復習：</p> <p>10. 少子化を解消する(1) ○少子化の原因について自由に考える(グループワーク) ○少子化の背景・問題点について情報提供(教員)</p> <p>予習： 復習：</p> <p>11. 少子化を解消する(2) ○与えられた資料を読解・分析し、少子化の原因を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業</p> <p>予習： 復習：</p> <p>12. 少子化を解消する(3) ○少子化解消のため目指すべき社会のビジョンを構想し、その方向性を実現するためのアイディアを出す(グループワーク)</p> <p>予習： 復習：</p> <p>13. 少子化を解消する(4) ○プレゼンテーション準備「少子化を解消するための具体的な方策を構想し、まとめる」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・パワーポイント資料作成</p> <p>予習： 復習：</p> <p>14. 少子化を解消する(5) ○プレゼンテーション「少子化を解消するための方策を提案する」</p> <p>予習： 復習：</p> <p>15. 振り返り ○グループワークおよびプレゼンテーションにおける自己の活動を振り返り、どのような能力を獲得できたかを確認する</p> <p>予習： 復習：</p> <p>16. 期末試験 ○与えられた資料を読解・分析し、時間内に課題解決策についての小論文を作成する。</p> <p>予習： 復習：</p>
--	--